

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0500
施設名	赤ちゃんの家保育園
施設所在地	町田市原町田 6 - 2 7 - 1 0
法人名	社会福祉法人愛育会

1. 活動のテーマ

さくら組 5歳児

<テーマ>

【音】

<テーマの設定理由>

子ども達が楽器に興味を持ち、音やリズムを楽しむ姿が見られたため、本テーマを設定した。
また、楽器についての研修で学んだことを保育に生かしたいと考えたことも理由の一つである。
さらにブロックなどで楽器を作り、演奏を真似する姿から子ども達の発想や表現の広がりを
感じた。これらの経験を大切にしながら、音遊びを通して子ども達の表現力を育てていきたい。

2. 活動スケジュール

- ①身近にある音を探す
- ②楽器の仕組みを知ったり響きを感じる
- ③楽器を作る
- ④手作り楽器で演奏を楽しみ他クラスの前で発表する
- ⑤この様子を撮影しプロジェクターを使用して視覚的に楽しみながら鑑賞の機会を設ける

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・楽器(タンバリン・カスタネット・鈴・太鼓・卓上ドラムなど)
- ・観賞用プロジェクター
- ・手作り楽器に必要な素材(廃材・布・紐・自然物)
- ・日常的に自由に楽器に触れられる環境を作る

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

12月初旬：園にある楽器に触れながら音が鳴る仕組みについて興味をもてるように関わった。
実際に楽器を鳴らしてみたり、叩く、振る、こするなど様々な方法で音の違いを感じた。
12月中旬：廃材や自然物を活用し子ども達一人ひとりが発想を広げながらオリジナルの
楽器作りに取り組んだ。
12月下旬：作った楽器を使って簡単なリズム遊びや合奏に親しみクリスマス会に向けて演奏
活動を行い本番では他クラスの前で演奏を披露し、自分たちの演奏の様子をプロジェクター
を活用し自分たちの演奏の様子を鑑賞する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

子ども達は音の違いに気づき「大きいね」「優しい音だね」と感じたことを言葉にしながら友だちとの関わり遊びを広げていた。楽器作りでは「どんな音になるかな」と試しながら工夫し互いの作品に興味を持ち認め合う姿が見られた。演奏活動ではリズムを合わせたり相談したりしながら協力する姿が見られ保育士は強制することなく思いに寄り添いながら関わった。クリスマス会では緊張しながらも演奏を披露し「できた」「楽しかった」と達成感や喜びを感じていた。

活動の様子



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

楽器遊びは日常的に行う機会が少なかったが、今回の活動を通して楽器に興味を持つ子が増え音を楽しむ姿が多く見られた。

また、楽器遊びは単に音を楽しむだけでなく、友達との関わりや表現する楽しさに繋がることを実感した。今後も日常の保育の中に無理なく取り入れながら子ども達の興味や自由な発想を大切にしたい。